

日本の縮図 兵庫の農業

兵庫県は、北は日本海、南は瀬戸内海から太平洋に面し、中央部に中国山地が横断するため、「日本の縮図」といわれるほど、地質、地形、気候などの自然条件が地域によって大きく異なります。

北部は水稻を主体とした地帯であり、南部は温暖な気候を利用した多毛作地帯で、京阪神という大消費地が控えているなど、それぞれの立地条件や気象条件などを生かした多種多様な農業が展開されています。

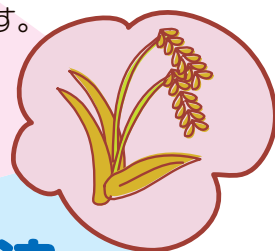
但馬



ブロイラー、肉用牛（但馬牛）、乳用牛、豚などが飼育され、畜産部門が農業生産の4割を占めています。耕種部門では、水稻の単作経営が中心ですが、一部に梨があり、近年は、黒大豆、ねぎ、ホウレンソウ等の高原野菜、すいかなどを取り入れた複合経営が増えています。

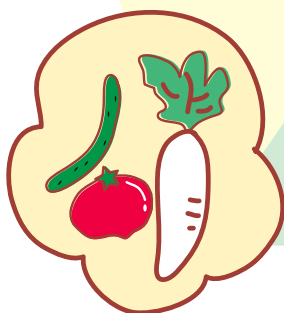
丹波

水稻を主体として、黒大豆や大納言小豆、やまのいも、なす、くりなどが栽培され特産品としても有名です。畜産部門では乳用牛、肉用牛、採卵鶏などが飼育されています。



播磨

水稻、採卵鶏、ぶどうとキャベツ、だいこん、にんじん、トマトなどの野菜を主体とした都市近郊農業と、中山間地では酒米など稲作が行われています。また、肉用牛の飼育も盛んです。



ひょうご五国 の恵み

淡路

温暖な気候を生かしたたまねぎ、レタス、はくさい、キャベツなどの野菜や、カーネーション、きくなどの花き、柑橘類、いちじく、びわなどの果樹が栽培されており、畜産では乳用牛、肉用牛などが飼育され県下でもっとも農業の盛んなところではあります。

摂津

都市農業や都市近郊農業の盛んな地域です。ねぎ、しゅんぎく、ほうれんそう、キャベツ、トマト、いちごなどの野菜のほか、花き、花木、ぶどう、いちじくなどの果樹栽培、乳用牛、肉用牛などの飼育が行われています。